

実質化された人・農地プラン（令和5年度見直し）

市町村名	対象地区名／地域名	当初作成年月	直近の更新年月日
青森市	油川 (油川・羽白)	平成25年1月	令和6年3月27日

1. 対象地区の現状

<p>水稻を主体に野菜や花き、果樹の特色ある農業経営が行われており、基盤整備に向けた地域の話合いが行われている。また、基盤整備未実施の水田では用排水不良がみられ、認定農業者や法人により農地集積が図られているが、農業者の高齢化に伴い若い世代の担い手が不足し、一部で耕作放棄地がみられる。</p>	
① 地域内の耕地面積	141.0 ha
② アンケート調査等に回答した地域内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	81.4 ha
③ 地域内における50歳以上の農業者の耕作面積の合計	64.5 ha
1) うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	37.5 ha
2) うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	9.0 ha
④ 地域内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	66.9 ha

2. 対象地区の課題

課 題	概 要
① 基盤整備に関する課題	安定的な用排水の確保のため、基盤整備を実施する必要がある。
② 耕作放棄地に関する課題	農地の集約化を図るとともに、耕作放棄地の解消や未然防止を図る必要がある。
③ 担い手不足に関する課題	農業者の高齢化を解消するため、若い世代の中心経営体を確保する必要がある。

3. 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>当該地域の農地利用は、本プランに中心経営体として位置づけられた経営体が担い、認定農業者や認定新規就農者の受入を促進することにより対応していくほか、関係機関と連携し基盤整備の実施を行いながら、分散錯圃や耕作放棄地の解消を図っていく。</p>
--

4. 今後の地域農業のあり方（3の方針を実現するために必要な取組に関する方針）

<p>今後は、基盤整備を実施するために地域での話し合いを行っていくとともに、低コスト化を図り、水稻＋野菜・花きの複合化を進め、農作業受委託などによる農地の流動化を図っていく。また、高付加価値化、6次産業化、法人化を視野に入れ、経営安定を図るほか、新規就農の促進に努める。</p>

5. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○経営体数	8 経営体
法人	1 経営体
個人	7 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織